



立憲民主党公認 木村たけつか

政権交代で ぶ厚い中間層を復活

私は、家業の肉屋の息子として生まれ、休みなく働く両親の背中をみて育ちました。当時は、汗をかき働く大人たちのおかげで少しずつ生活が良くなっていく実感が持てました。

しかし今の日本は、いくら働いても所得が増えず経済成長しない状況が続いています。この根本的な原因は、政治の失敗によるものだと思います。政府与党はアベノミクスに象徴される大企業・富裕層優遇の経済政策を推し進め、格差が拡大しました。また、私腹を肥やす裏金・脱税問題等による政治不信も看過できません。今こそ政権交代で政治を刷新し、経済を成長させ、分厚い中間層を復活させるべく全力で取り組んでまいります。

- ①中小小規模事業者への社会保険料負担の軽減
- ②雇用の正規化の推進と、最低賃金時給 1,500 円へ
- ③消費税の時限的な 5 %への減税、食料品は 0 %へ
- ④国公立大学の授業料無償化及び、
私立大学・専門学校への同額程度の負担軽減
- ⑤地域公共交通（鉄道・バス等）の公的支援の拡充
- ⑥危機管理・防災災害対応専門の省・庁の設置
- ⑦現行の安保法制の違憲部分の廃止
- ⑧紙の健康保険証の存続

推薦人

「信なくば立たず。」まずは政治への信頼回復が最優先の国家課題です。常に地域の為に汗をかき、地域の声を聴いてきた木村たけつかさんの誠実さと行動力に私も期待致します。

立憲民主党代表 野田 佳彦

キムタケの主張



詳しくはHPへ

木村たけつか

立憲民主党

「プロフィール」 1971（昭和46）年7月9日生まれ。中学・野球部、高校・バレーボール部、浪人中から新聞配達・牛乳配達・奨学金で日本大学経済学部卒業。西川太一郎元衆議院議員（現荒川区長）秘書、墨田区議会議員2期、衆議院議員1期。